

平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和元年 11 月）会議録概要

日 時：令和元年 11 月 26 日（火）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 長谷川 小笠原 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

1. 開会のあいさつ

大橋：10 月 30 日「西砂川で災害を考える」第 4 弾を実施。立川市防災ボランティアネットの新井明子さんが来訪。アイラップを使って 6 種類の献立を作りながら、新しい料理方法を教えて戴き、若いお母さん達も来て戴いて良かった。後程報告。

11 月 22 日「パパもママも学びたい第 2 弾にしすな夜間塾ヨガでリラックス」を実施。参加者が少し少ないが、身体を軽く・気持ちがゆったりで翌土曜日を迎えたのではと思う。夕食の時間は西砂に新しく来た人のデビューの場になり、西砂・松中から各 1 組の参加があった。食事しながら話が出来た事が良かった。長谷川さん・俣本さんが料理を作り好評だった。11 月 1 日「地域の再発見・地域を学ぼう！」で笠井信吾さんの所に行き石川係長と話の内容を詰めて来た。後程報告。11 月 18 日北部西かみすな地域包括支援センターの秋間さんと倉嶋さんと進藤さんと、認知症予防講座の話を詰めた。後程報告。

2. 平成 31 年度地域活性化講座について

（1）「地域の再発見・地元を学ぼう！」について

石川：岩元委員と話後、大橋会長と話を詰めて来た。2 月 22 日（土）の午後 2 時開催。場所は視聴覚室・1 時間半位を予定。内容は西砂川と砂川地区の歴史。近隣の美堀町や飛行場等。講師の笠井さんは昭島から立川に引っ越して来て、地域につながりがある。話が面白い方で飽きない話をして戴けると思う。

大橋：実際に話は江戸時代から現在までの話を出来る方という話があった。今回は昭和初めから現在に至るまでの話になる。

（2）認知症予防講座について

石川：先日会長と進藤さんと北部西かみすな地域包括支援センターの方と打ち合わせをした。今回は認知症・若年性認知症についてや基礎知識や認知症にならないためのヒントを含めた予防法を教えて戴き、岩元委員に協力戴き認知症予防体操を行う。実施は 2 月 29 日（土）10 時～11 時 30 分を予定。

(3) その他について

石川：先日「パパもママも学びたい第2弾にしすな夜間塾ヨガでリラックス」を行ったが、2回目は2月21日に決定。詳細は今後決める。

大橋：出来るか分からないがお父さんはワインを含めた啗酒や焼酎1本でのバリエーション作り等の内容だと来てくれると思った。

岩元：コーヒーも良い。

石川：酒は良い・悪いを言われるがコーヒーは悪いと言われない。

森：学社一体の場としてPTAの30代や4代のお父さん達だけでもいいと思った。アンケートは講座を行った後の結果も良いが、講座内容の候補を幾つか絞って次回参加したいものの傾向を調べるのもいいと思う。

大橋：ある程度項目を絞って載せておく等。場所は児童館。森委員からは実際に行ったことだけをアンケートにするだけでなく、方向性を定めて枠組みで書いて貰うことを検討したらいいとのこと。実際これから行う色々な講座にも使えるかもしれないのでアンケートの形式を考えてみてはと思う。

3. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 「西砂川で災害を考える」第4弾 被災時のクッキングについて（報告）

石川：平日にもかかわらず沢山の参加者が来てくれて盛況だった。「災害時の心構えを改めて感じた。」との感想が多かった。防災頭巾の中身が具体的で良いアイデアと皆さん話していた。次回の第5弾は防災頭巾のアイデアを募れたらいいと感じた。アイラップはお湯に入れても溶けずに美味しいご飯が炊けてすごいと感じた。

大橋：防災頭巾のことを前に岩元委員が話してくれた。バスタオル状ものを粗く縫ったり、安全ピンで止めるものもあった。中に被災時に必要なものが全部入っている。保険証の番号等個人用のものをセットしてけばいいと思った。女性のトイレの問題・何日もお風呂を入れないショーツの問題をそれぞれ防災頭巾の中に入れて準備すれば解いて使う事が出来る為、各個人で持つ提案があった。

小林：防災頭巾の具体的な内容も話して下さり、若い人も参加してくれて忘れていたことを思い出し良かった。

森：説明の時に話し声がしてうまく聞こえなかった。はっきり聞こえれば良かった。

加藤：水で作ったカップヌードルは十分食べられたし、牛乳を入れ美味しかった。

大橋：「西砂川で災害を考える」第5弾は実施するか。

岩本：今まで来なかった方が来てくれたので講座を広げていく方向で考えていければ良い。

大橋：第5弾は実施の方向で立川市防災ボランティアネットの人達と話を詰めていく。

(3) 西砂学習館・児童館・運営協議会合同企画 「第2弾パパもママも学びたいにしすな夜間塾ヨガでリラックス」の実施について

石川：参加人数が少なかったが参加者は皆さん良かったと言ってくれた。

小笠原：次回の具体的な案はないが、お父さんを引っ張り込みたい希望はある。参加した人の中には次回は夫婦でと言われた方もいた。立川市青少年健全育成連絡会も2月8日または2月22日に座学講座を行う予定の為、内容的に被らない様にしたい。

大橋：チラシは近隣小中学校に配る。内容を検討しチラシを作り持参しお父さん・お母さん達から「やりたい」と声が上がればいい。因みにお酒が入る内容かどうか。

小笠原：公的な場所なので不徳定多数に向けて出す場合はハードルが高く難しいと思う。

大橋：コーヒーはどうか？

小笠原：その程度なら大丈夫。

石川：学習館での飲酒は禁止。ただ、昔唼酒の講座をやったことはあるよう。

小笠原：前に体幹や歩き方の先生のお話を聞いたことがある。

石川：とてもいい先生で佐藤明子先生。

小笠原：スポーツに興味があるお父さん達に依頼したらいいと思う。

石川：スポーツ振興課でずっとお願いしている先生で実家のお父さんも整骨院をしていて、骨のしくみや姿勢について教えてくれる。また子どもの背筋を立たせて猫背を直すことも教えている。

小笠原：お父さん方に参加して戴いたら良い。

大橋：子ども達も参加するということか。

小笠原：お父さん・お母さんは知識を持っているだけでも良いが、中学生位になると教えるだけではダメ。

石川：佐藤先生は親子姿勢教室を行っていて、子どもの猫背をシャキッと直してる。

大橋：お父さんを引き込む講座を考えていけたらいい。ハーバリウムもヨガもお父さんが来てもいいが、実際はお母さんだけだった。なぜお父さんが来れないのか情報を集めないで企画出来ない。情報が集められるようなアンケートがいい。

石川：佐藤先生にアポイントを取る。

大橋：係長・小笠原館長・佐藤先生で日程調整してほしい。

(4) フリースペースについて

小林：今月のご飯は季節の野菜のみそ汁と炊き込みご飯。子ども達はおかわりしてくれてよかった。

小笠原：フリースペースの役割は子どもと大人の関りや一緒にご飯を食べる事。

(5) 各委員からの報告及び連絡事項について

加藤：交流クッキングは、従来柴崎学習館で行っていたが、今回は西砂学習館で行うことになった。定員 20 名の所申し込みは現在 22 名。子ども連れが殆ど。今回から各地区で年 4 回程度行う方法で考えている。各地域で交流とお友達作りが出来れば良いと思っている。

企画運営委員会で、小中学校のコーディネーターの話が話題になった。西砂学習館の地運協では、センター長の声かけで、定例会議にコーディネーターを呼んで顔合わせしたことを報告した。他の地運協でも実施したら良いとの話が出た。

また、幸・柴崎・錦学習館では、東京学芸大の先生方が委嘱されていることから、学芸大の学生と連携しているとの話がでた。そこで、西砂学習館では大学との繋がりはないが、サマーイベントなどで地域の学生さんが協力している事例があることから、今後さらに地域の若者世代との繋がりを模索して行きたいとの話をした。

広瀬：11 月 29 日と 12 月 6 日の 2 回に分けて市民科講座の傾聴講座がある。最初は 5~6 名しか応募がなかったが、チラシを新しくし今日は 16 名まで応募が来ているので良かった。「人に話をすることは聞くことなんだよ」とのことを教育部も認めてくれてよかった。在宅ケアで井尾先生の講座を今年は砂川学習館で 12 月 14 日に予定してる。井尾先生は在宅や緩和ケアでは第 1 人者。12 月に幸学習館で包括が入って行くが 130 名位の参加予定がある。

進藤：社協では 11 月に体操フェスタを行って毎月会場を変えている。体操お届け便（立川健康体操）の名称で普及啓発に取り組んでいるので、チラシを配りたいと思っている。12 月 7 日「地域福祉市民フォーラム」がアイムである。子どもの不登校の居場所作りをどうすればいいかを話す。若葉町では児童館で居場所作りをしている取り組みが月 1 回始まっています。

長谷川：11 月 3 日中学生の主張大会が行われた。7 中の張替さんは今年は市長賞を戴いた。内容はバラエティーに富んで皆さん堂々としっかりした発言をしていた。放課後子ども教室むぎっこクラブの餅つきは 12 月 14 日は毎年恒例で行われている。是非皆さん来て下さい。

小笠原：西砂児童館では 11 月・12 月行事が色々ある。11 月 4 日「立川市対抗ドッジボール大会」はおかげさまで高学年・低学年共に優勝。低学年は 8 戦全勝・高学年は 6 勝 1 分 1 敗で子ども達が本当に頑張った。

児童館は中学校で不登校になっている生徒の居場所の場になっているが、本来なら学校に行かなくてはいけないという立場になって中学校と話してもいるが、児童館は少しでもその役割を果たしていければと思っている。今は学校のルールに合わせられない生徒も増えて来ているので、せめて児童館・学童保育所の遊びを通して子ども達を健全にしていければと思っている。今は子ども達を自由に遊ばせようというスタンス。学校には行けないが学童に来ると安心するという生徒もいますので、学校とのバランスをどう取るかで苦慮している。子ども達を受け止められる役割を

求められているを日々感じている。

岩元：来年の1月5日西砂会館主催で「まゆ玉飾り」があります。1月19日「うどんづくりの講座」がありますので、準備を進めている。立川市の文化協会の文化祭「ともだちコンサート」が先週の日曜日に開催。一昨日に行われた吹奏楽コンサートは今回を持って終了となった。

先程も話に出ていたが不登校の子どもが最近増えて来ている。子ども達の教育は学校の先生にお任せするしかないが、親御さんの方で子ども達の不登校の相談を出来ないだろうか？という考えがあります。2月には不登校の子ども向け研修がある。子ども達の心に寄り添うことを考えながらまた出来ればいい。

小林：フリースペースで7~8年一緒に今高校2年生のリユウセイ君が私のお世話をかって出てくれると話してくれて、実際に2日間来てくれた。今までボランティアの意味合いで子ども達の面倒を見てきたが、逆に子ども達から面倒を見て貰ってとても嬉しかった。小学生から接してきた子がとても立派になったことにすごく感動した。

森：西砂パソコン倶楽部は今月5日に講座を実施。今回は個別に分からない所に対応する講座をした。サークルのチラシや、表作成と各自レベルアップして嬉しく思っている。来週にはワードで作れる3つ折りの案内表を予定。毎回定員いっぱい待ち遠しくしてくれるのがとても嬉しい。

増田：たちかわ・財政を考える会では、税金の使い方を明らかにし、市民の目から見て疑問に思ったことをみんなで建設的に議論していける輪を広げようと活動している。

3月に最新データを採録した資料集を発刊の予定で、スケジュールはタイトだが市民の皆さんに少しでも役立てる様に頑張っていく。

石川：西砂学習館催物講座の「クリスマス・ジャズ・コンサート」はすぐにいっぱいになった。環境プロジェクトで行っている立川産のお米の寄付を戴けるので、来年のサマーイベントのお米は確保出来た。3月27日「即席麺アレンジの簡単美味しいランチ」を行う。

大橋：11月24日に「中学生の人権作文東京都大会」に行ってきた。立川市からは3年生の1名のみが参加。この生徒は3小生の在学時にお父さんの仕事の都合でドイツに行っていて、その時に見たことを作文にした。27日には立川市の表彰があり今年10名の生徒や保護者の方、他に校長や副校長の学校関係者参加し表彰式がある。

その他

石川：福祉総務課から地域福祉ウォッチャー調査を西砂学習館運営協議会3名の方にお問い合わせの件です。宜しくお願いします。

※次回開催；次回は、12月11日（水）午後6時～ 西砂学習館